

お知らせ

記者発表資料

令和6年5月10日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

平成26年8月の広島土砂災害から10年 土砂災害防止に向けた全国会議を広島市で開催します ～令和6年度(第42回)土砂災害防止「全国の集い」～

平成26年8月の広島土砂災害、平成30年7月の西日本豪雨災害など、これまで大きな土砂災害を繰り返し受けてきた広島県で、災害伝承やまちづくりと連携したハード整備のあり方など、社会情勢の変化を踏まえた今後の土砂災害に対する取り組みを発信する全国会議を開催しますので、お知らせします。

<開催概要>

名称：令和6年度（第42回）土砂災害防止「全国の集い」

日時：令和6年6月6日（木）13:00～17:00（開場 12:00）

場所：広島文化学園 HBG ホール
（広島市中区加古町3-3）

主催：国土交通省、広島県

内容：別紙のとおり

HP：<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/100/tsudoj.html>
（広島県 Web サイト）

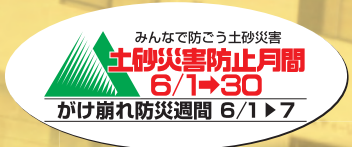
【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 ☎（082）-221-9231（代表）

河川部 河川計画課長 おお やま り く 大 山 璃 久 （内線 3611）

広島県 土木建築局 ☎（082）-513-3942（砂防課直通）

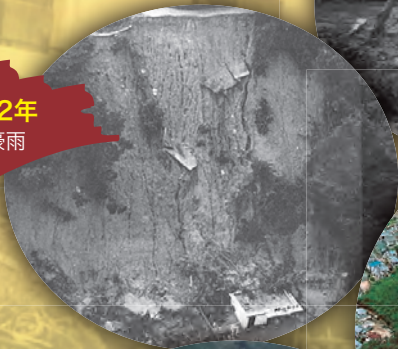
砂防課長 ひら た りょう 平 田 遼



昭和20年
枕崎台風



昭和42年
7月豪雨



平成11年
6.29土砂災害



平成26年
8.20土砂災害



平成30年
7月豪雨



砂防堰堤と遊砂地



防災教育(出前授業)

土砂災害防止 全国の集い in 広島

令和6年度
第42回

繰り返される土砂災害との闘い
～土砂災害の歴史や社会情勢の変化を踏まえた今後の取り組みを考える～

報告

能登半島地震における
土砂災害とその対応について
国土交通省 砂防部



特別講演

土砂災害がふるさとを襲った後の
世界を生きていく

講演者：稲田幸久 (作家)
第12回広島本大賞、第13回角川春樹小説賞 受賞

パネルディスカッション

繰り返される土砂災害との闘い
～土砂災害の歴史や社会情勢の
変化を踏まえた今後の取り組みを考える～
コーディネーター：松本浩司 (NHK解説主幹)

主催 国土交通省、広島県

CPD-CPDS認定講習

令和6年

一般参加入場無料

日時

6月6日 木 13:00~17:00

会場

広島文化学園HBGホール

問合せ先

第42回土砂災害防止「全国の集い」運営委員会事務局(広島県砂防課)

(電話) 082-513-3942

【後援】内閣府、消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、NHK、(一社)日本新聞協会、(一社)日本民間放送連盟、(一社)全国治水砂防協会、(一財)砂防・地すべり技術センター、(一財)砂防フロンティア整備推進機構、全国地すべりかけ崩れ対策協議会、(一社)斜面防災対策技術協会、(一社)建設広報協会、砂防ボランティア全国連絡協議会、(NPO)土砂災害防止広報センター、(一社)広島県建設工業協会、広島県建設業協会連合会、(一社)広島県法面協会、(一社)斜面防災対策技術協会中国支部、(一社)広島県測量設計業協会、中国地質調査業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会中国支部、(一社)全国治水砂防協会広島県支部、広島県市長会、広島県町村会、砂防ボランティア広島県協会、(公財)広島県消防協会、中国新聞社、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、ちゅピCOM

6月6日 木 土砂災害防止「全国の集い」

連携行事 (午前中)	令和6年度 広島県砂防工事施工技術等連絡会	JMSアステールプラザ 4階 大会議室
	令和6年度 砂防ボランティア「全国のつどい」	広島市文化交流会館 3階 大会議室「銀河」

12:00	<p>■開 場／広島文化学園HBGホール</p> <p>■ポスター展示『全国からの土砂災害対策 事例報告』</p>
13:00	<p>■開会式典</p> <p>1) 挨拶：国土交通大臣、広島県知事、来賓（国会議員等）</p> <p>2) 土砂災害防止功労者表彰式</p>
13:55	<p>■報 告</p> <p>能登半島地震における土砂災害とその対応について</p> <p>国土交通省砂防部</p>
14:20	<p>■特別講演</p> <p>土砂災害がふるさとを襲った後の世界を生きていく</p> <p>講演者：稲田幸久（作家）</p>
15:00	<p>■ポスター展示『全国からの土砂災害対策 事例報告』</p>
15:15	<p>■パネルディスカッション</p> <p>繰り返される土砂災害との闘い</p> <p>～土砂災害の歴史や社会情勢の変化を踏まえた今後の取り組みを考える～</p> <p>コーディネーター 松本浩司（NHK解説主幹）</p> <p>パネリスト 海堀正博（広島大学名誉教授） 松井 憲（広島市豪雨災害伝承館副館長） 廣本典子（元広島市立矢野小学校校長） 平田 遼（広島県土木建築局砂防課長）</p> <p>コメンテーター 草野慎一（国土交通省 砂防部長）</p>
17:00	<p>■閉 会</p> <p>※出演者、プログラム名称等は予告なく変更となる場合があります。ご了承下さい。</p>

【開催主旨】 日本は、地殻変動や火山活動などにより形成された地形の変化と、国土の約7割を占める山地・丘陵地が森林で覆われた自然の風景の美しさを持っており、自然という面からは大変恵まれている国です。しかしその反面、急流河川が多く、地質的に脆弱なため、台風や集中豪雨などの気象条件によって土砂災害が発生しやすい厳しい環境にあります。

特に、近年、気候変動に伴う集中豪雨の増加によって、日本各地で激甚な土砂災害が頻発しており、毎年人的被害が発生しています。

このため、土砂災害による犠牲者ゼロを目指し土砂災害警戒区域等の指定や避難誘導のための様々な情報発信を行うとともに、「いのち」と「くらし」を守り国土を保全するための砂防事業を推進することが益々重要となっています。

広島県においても、これまで大きな土砂災害を繰り返し受けてきた歴史があり、近年では、平成26年8月の広島土砂災害、平成30年7月の西日本豪雨災害など、激甚な土砂災害が頻発しています。繰り返し発生する土砂災害から、我々は如何にして立ち向かっていくべきなのか、「平成26年8月20日発生 8.20広島土砂災害」から10年を契機に、災害伝承やまちづくりと連携したハード整備のあり方など、社会情勢の変化を踏まえた今後の土砂災害に対する取り組みを発信することを目的に開催するものです。



■JR「広島駅」からお越しの場合／広島バス24号線（約25分）加古町バス停下車／タクシー（約15分）／広島電鉄 広島港行（紙屋町経由）市役所前下車（600m）／広島電鉄 江波行 舟入町下車（400m）

■広島空港からリムジンバスでお越しの場合／バスセンター（紙屋町）> 徒歩約5分 > 広島バス24号線本通りバス乗車（約5分）> 加古町バス停下車 > 徒歩1分

現地研修会はCPD・CPDSの対象外です。

6月7日 金 現地研修会

本年度は以下の3コースを準備中です。詳細は参加登録WEBサイトをご確認いただき申込みいただきますようお願いいたします。

※コース内容は諸事情により変更となる場合があります。

【半日コース①】 平成26年8.20広島土砂災害（八木・緑井地区）
広島市豪雨災害伝承館

【半日コース②】 紅葉谷川庭園砂防施設
厳島神社・宮島の歴史的な町並み

紅葉谷川庭園砂防施設、厳島神社・宮島の歴史的な町並み

【1日コース】 平成26年8.20広島土砂災害（八木・緑井地区）
広島市豪雨災害伝承館

※定員になり次第締め切らせていただきます。



紅葉谷川庭園砂防施設



広島市豪雨災害伝承館

参加申込要領

◎参加をご希望の方は、下記「広島県 Webサイト」からお申込みください。
6月6日のメインプログラム（開会式典、シンポジウム）のみの参加の場合、当日受付もできますが、配布資料の準備等のため、事前申込にご協力ください。

広島県 Web サイト

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/100/tsudoi.html>

広島県砂防課

で検索下さい。



◎6月7日（金）現地研修会に参加する場合は、参加費用が必要となります。

詳しくは申込Webサイトをご覧ください。

必ず事前に申込Webサイトからお申込みください。

◎申込Webサイトから宿泊の事前手配も可能です。

《お問い合わせ先》

第42回土砂災害防止「全国の集い」運営委員会事務局
（広島県土木建築局砂防課） 電話 082-513-3942